

【青い森信金ー八学大】初優勝を喜ぶ八学大のメンバー＝テクノルアイスパーク八戸



八学大が初V

第62回
デーリー東北新聞社杯
八戸市実業団
アイス
ホッケー



【青い森信金ー八学大】第1ピリオド、八学大は河村竜正(左)が決め、2-0とする

デーリー東北新聞社杯
第62回八戸市実業団アイス
ホッケー

スホッケーリーグ戦第10日は3日、テクノルアイスパーク八戸で上位リーグ戦を行い、八学大が青い森信金に7-3で勝利し、3戦全勝で初優勝を果たした。

八学大は第1ピリオド(P)4分過ぎ、高山聖が流し込んで先制。河村竜正、小笠原圭二が続いて主導権を握った。

第2Pは失点しても取り返す粘り強さを披露。第3Pは相手の6人攻撃

の隙を突いて得点を挙げると、突き放して試合を決めた。

第11日の4日は同会場で行われた下位リーグ戦のICE HOCKEY LUCKY Y-18工大を行う。午後8時半フェースオフ。

大学生、新たな歴史

ハイライト

大学チームが頂点に立つという、新たな歴史をつくった。八学大は昨年の覇者・青い森信金を7-3で下し、上位リーグ3戦全勝で初優勝を決めた。河村竜正主将は「うれしい」との一言に万感の思いを込めた。

「走り負けないこと」。八学大らしさを体現したゲームだった。第1ピリオド(P)に3点をリードして流れをつかみ、第2Pで2失点するも、すぐに点を奪い返して追撃を許さなかった。

守備でも積極的にバックを奪い、打たれたシュートは八学大の半分以下。埋められない経験の差を、フィジカルでカバーした。

「相手がどこであろうと、自分たちのプレーができたことが優勝につながった」と選手をねぎらった武田裕大監督。数々の不利での失点など課題もまだまだあるが、この優勝は確実にチーム成長の糧になる。河村は「この結果に満足せず、かといって気負いすぎず、次の大会もチャレンジしていきたい」と飛躍を誓った。

(中山瑞希)

(千葉達也、中山瑞希)
▽上位リーグ戦
八学大 73-03 青い森信金
2-2
▽得点 高山2、河村2、小笠原
工藤、中村(八) 吉田、月領、篠原、青
▽補点 中村2、小笠原2、工藤(八) 武田、田村、大崎、吉田(青)